

### 3 併願受験

#### (1) 併願が可能な受験区分

第1希望 \ 第2希望		小学校教諭等				中学校教諭等				高等学校教諭等
		全教科	英語	特別支援	体育	国語	理科	家庭	技術	家庭
小学校教諭等	全教科	—	—	—	—	—	—	—	○	—
	英語	○	—	—	—	—	—	—	○	—
	特別支援	○	—	—	—	—	—	—	○	—
	体育	○	—	—	—	—	—	—	○	—
中学校教諭等	英語	○	○	—	—	—	—	—	○	—
	体育	○	—	—	○	—	—	—	○	—
	家庭	○	—	—	—	—	—	—	○	○
	それ以外の教科	○	—	—	—	—	—	—	○	—
高等学校教諭等	国語	—	—	—	—	○	—	—	○	—
	理科	—	—	—	—	—	○	—	○	—
	家庭	—	—	—	—	—	—	○	○	—
	それ以外の教科	—	—	—	—	—	—	—	○	—
特別支援学校教諭等	知的他、音楽、美術	○	—	○	—	—	—	—	○	—

※ 第1希望、第2希望それぞれの受験区分・教科を受験するのに必要となる普通免許状を所有する者（取得見込みも含む）は併願が可能です。（2 受験資格P2を参照）

※ 第一次選考試験で第1希望と第2希望の両方に合格した場合は、第二次選考試験において、第1希望の受験区分のみで「模擬授業」を受験することとし、第1希望の得点により第2希望の可否を判定します。

※ 第1希望、第2希望のどちらかに小学校教諭等を含む場合は、第二次選考試験で簡単な英会話の試験を実施します。

※ 英語の受験者でリスニングを受験する者は中学校教諭等技術を併願することはできません。

#### ア 小学校教諭等英語と小学校教諭等全教科の併願について

第一次選考試験は、小学校教諭等の筆答試験「専門(小)」に加え、小学校教諭等英語の筆答試験「専門(リスニング)」も受験する必要があります。

#### イ 小学校教諭等特別支援と小学校教諭等全教科の併願について

第一次選考試験は、小学校教諭等の筆答試験「専門(小)」に加え、小学校教諭等特別支援の筆答試験「専門(小特)」も受験する必要があります。

#### ウ 小学校教諭等体育と小学校教諭等全教科の併願について

第一次選考試験は、小学校教諭等の筆答試験「専門(小)」を行います。

#### エ 中学校教諭等と小学校教諭等の併願について

第一次選考試験において、中学校教諭等の筆答試験「専門(中)」(該当する教科)及び小学校教諭等の筆答試験「専門(小)」の両方を受験する必要があります。

#### オ 高等学校教諭等(国語・理科・家庭)と中学校教諭等(国語・理科・家庭)の併願について

高等学校教諭等国語と中学校教諭等国語の第一次選考試験における筆答試験「専門」は共通問題になります。

高等学校教諭等理科と中学校教諭等理科、高等学校教諭等家庭と中学校教諭等家庭は第一次選考試験における筆答試験「専門」がそれぞれ別の問題になりますので、両方の「専門」を受験する必要があります。

高等学校教諭等家庭と中学校教諭等家庭の併願は、どちらを第1希望としても構いません。

#### カ 特別支援学校教諭等と小学校教諭等の併願について

第一次選考試験において、特別支援学校教諭等の筆答試験「専門(特別支援)」及び小学校教諭等の筆答試験「専門(小)」の両方を受験する必要があります。小学校教諭等特別支援の場合は、さらに「専門(小特)」も受験する必要があります。

#### キ 中学校教諭等技術の併願について

全ての受験区分・教科(科目)において、中学校教諭等技術を第2希望として併願することができます。その場合、第一次選考試験において、第1希望の受験区分・教科(科目)で受験する試験に加えて、中学校教諭等技術の筆答試験「専門」も受験する必要があります。